

市政報告

15
vol.

かみたに

京都市会議員



神谷修平

瓦版



福祉

認知症予防・治療・介護の対策強化を！

2025年には高齢者の5人に1人が認知症にかかると言われていました。今後、多くの方が認知症で介護を必要とすることは避けられません。



認知症予防は歯周病予防から

認知症の中でも70%をしめるのが、アルツハイマー型認知症です。最近歯周病の原因となる歯周病菌が、アルツハイマー型認知症に関わることが報告されており、実際に歯周病患者は10倍認知症になりやすいことも明らかになっています。30代以降の市民に定期的歯科検診を実施し、40代以降の歯周病患者数を減少させ、認知症の予防に繋げていく取組みが京都市には必要です。



新しい認知症治療薬の積極的使用を見据えた体制作り

2023年、新しいアルツハイマー型認知症治療薬「レカネマブ」が米国で承認されました。「レカネマブ」はアルツハイマー病の発症・進行を抑え、症状の悪化を防ごうという薬です。日本においても2023年内に承認されることが予想されます。この新規治療薬を効果的に使用するためには「認知症の早期診断」が必要です。京都の地域企業が少量の血液からアルツハイマー型認知症の診断を行える技術を開発したことから、その強みを生かし京都市民が早期診断を受けられる制度を作り、認知症を積極的に治療する体制作りが求められます。京都市を認知症予防・治療の先進都市にすべく、尽力して参ります。



防災

消防局におけるデジタル化の推進について

京都市では全庁的にデジタル化が進んでおります。消防局においても、デジタル化というのは、今後、効率化や利便性の向上といった面で大変重要になってくると考えております。

デジタル化を推進することにより、業務の効率化が図れ、職員の方々の事務的な負担が軽減され、救急業務にしっかりと力を掛けていくことができます。

東京都では消防行政サービスについて「いつでも・どこでも・わかりやすく受けられるデジタル消防署の実現」といった方向性で動いています。本市でも消防行政における手続き等のデジタル化を推進し、利便性の向上へつなげていただくよう求めました。

その結果、令和4年11月9日から、京都市では「LINE」で救命講習の申込みが開始されることになりました。今までは電話による講習会の空き状況確認や紙による申込書の提出が必要でしたが、「LINE」を活用することでオンラインのみで手続きが完了し、24時間365日どこからでも申込みができます。個人での受講及び学校や事業所など団体での受講、どちらもご利用いただけます。是非ご活用ください。

LINE 公式アカウント「救命講習のご案内@京都市消防局」

令和5年度 京都市予算編成に あたっての 要望書を提出しました



私たちは令和5年度予算要望書を作成するにあたり

『徹底した役所改革による
無駄のない持続可能な財政運営の実現』

を一番の思いとして検討を重ねてまいりました。

来年度予算を編成するにあたり・・・

「行財政改革計画」の前提となる
財政状況の最新数値

市民への財政情報の
慎重かつ的確な情報発信

財政調整基金の積立て

など、京都市財政に関して私たちが重要視している課題について、真摯に取り組んでいただくことを強く要望しています。以下、要望書の内容を一部抜粋したものを載せております。

要 望 書

(一部抜粋)

「行財政改革のさらなる促進」

●公務員給与費について

安易な借金や国と地方の押し付け合いは納税者への責任転嫁であり、将来世代への負担先送りである。また、財政再建の遅れからコロナ禍において機動的な財政出動が行えなかったことは痛恨の極みである。財政難の中、他都市平均を上回る給与水準は早々に是正し、総人件費の抑制に努めること。また、公務員給与においては、年齢分布の広い主任級における給与表の上限額引下げを行うことを筆頭に職責毎の給与差を明確にすること。加えて、非管理職においても人事評価に基づいた給与反映を行い、貢献度の高い職員のやる気を削がないよう努めること。また、怠慢・不祥事については分限免職を含め毅然とした対応を行うことなどを盛り込んだ職員基本条例制定を目指すこと。



●財政規律条例について

急場しのぎのため常態化する会計間の資金融通や基金の目的外利用などを禁じ、コロナ時のような緊急事態に備えた財政確保の義務化などの独自基準の制定を含む将来世代に負担を先送りしない財政運営を明記した財政規律条例を制定すること。

「納税義務者の拡大ならびに定住促進について」

本市は学生の街でありながら20～30代の転出超過が著しい。京都にやってきた学生がそのまま京都で働きたいと思える街づくりはもちろんのこと、今後の京都市の活力を維持するためには納税義務者の割合を他の政令市並みに引き上げることは必須である。そのためには、雇用の創出、子育て政策や住宅政策、交通インフラ整備も含め人口増加に向けて全庁一丸となって取り組むこと。



神谷修平プロフィール

- 1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業
- ・文化財保存修復師として約10年間
国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
- ・バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
- ・家族は妻と子供2人です。



様々な活動や行事に参加させていただいております！



神谷家は大宮五条で『神治屋』
という瓦屋を営んでおりました。
それにちなんで、タイトルを
「かみたに『瓦』版」と命名致し
ました。



『かみたに瓦版』の由来

発行：神谷修平事務所

〒600-8385 京都市下京区五坊大宮町77 ヒゴエグゼクティブビル1F TEL. 075-406-0473 FAX. 075-406-0474 kamitani2019@gmail.com